

NPO 法人 しっぽ・いっぽの会 ~人と犬の共生をめざして~

しっぽのちから

sippoippo 通信第 19 号 発行日：2017/03/04

<http://www.sippoippo.info>



2016年動物愛護フェスティバル

9月22日(木祝) 豊田市鞍ヶ池公園内にある動物愛護センターで動物愛護フェスティバルが開催され、しっぽ・いっぽの会も昨年度に引き続いて参加しました。犬の飼い方講習会(動物保護管理センターが毎月開催)で行っているしつけ方のデモンストレーションやフートの場所当てゲーム、昨年度も好評をいただいたトッグダンスも披露しました。



今年の「動物愛護フェスティバル」は大雨となり、室内のみでの開催となりました。トッグダンスは参加頭数が少なくじんまりとしたものになりましたが、参加者は盛り上がっていました。

トッグダンスと言っても、基本的なものは「おすわり」「ふせ」「まて」「おいで」だけを使い、難易度が高いようには見えないかもしれませんが、ですが、何頭かの犬たちと合わせて動かすことはなかなか難しいものです。「おいで」と言われて飼い主でない人に一目散のワンちゃん、本番で固まってしまっているワンちゃん、「まて」のはずが飼い主に付いて行くワンちゃんと、しっぽ・いっぽの会のスタッフも毎年練習で苦労しています。

なかなか完璧なものを披露というわけにはいきませんが、参加する側も楽しく、そして観てくださる方たちにも楽しんでいただければと思います。



熊本被災犬のレスキューについて

昨年の夏以降、しっぽいっぽの会では一年前に発生した熊本地震で被災した保護犬たちの受け入れを行っています。大規模な自然災害が発生した時、その災害の犠牲になるのは人間だけではありません。多くの動物たちも又行き場を失うこととなります。今回受け入れている保護犬たちも、災害発生時に飼い主とはくられてしまった子、避難所へ連れていくことができずに放棄されてしまった子など、その経緯は様々ですが、いずれも保護が必要であると私たちに託された大切な命でした。

東日本大震災の被災犬同様、想像を絶する大きな揺れや頻発する余震を経験した犬たちの多くは、あらゆるものが地震と結びつくのでしょうか、ちょっとした物音や車で小さな揺れでさえ、異常に怖がったりします。なかには不安からくる排泄をしてしまう子もいました。その小さな心についた傷の深さを、痛感しました。

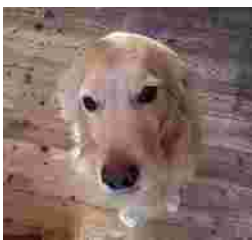
今回の保護を通して改めて感じたことは、大きな自然災害は、いつ・誰の近くで起きても、不思議ではないということ。普段からライフチップや連絡先の分かる名札を付けるのみならず、はくれてしまった時に探していただきやすいように写真を非常持ち出し袋などに入れておくことや、首輪やリードの色なども記録しておいた方が良いことも改めて感じました。また、持病がある場合には薬の用意も必要だと思います。災害に遭わないに越したことはありませんが、万が一を考えることも、必要なことですね。



保護犬となった子犬たち



ふれあい犬紹介



オリヴァー、4オのオスです。

縁あって我が家に来ました。家に来た当初はカーテンのひらひらを怖がってよく固まっていたのですが、今ではすっかり我が家の主となっています。

怖がりではありますが、他の犬とももめることなく、少しずつ活動に参加しています。



ぷーすけ、3オのオスです。

遊びが大好きなチャキチャキ坊やです。家でも毎日おもちゃを持って走り回り、外に出れば誰にでもしっぽを振って飛んでいきます。犬も大好きですが、積極的すぎて時に嫌がられてしまうほど...それでもめげずに向かっていく、図太い性格の持ち主でもあります。

保護された犬たちの新たな家族探しには、医療費や運送費、食餌代など多くの経費がかかります。一頭でも多くの罪のない命を救うために、皆さまからの温かいお気持ちを寄せていただけますと幸いです。

振込先】

三菱東京UFJ銀行 藤が丘支店 (店番 252) 口座番号 : 3704694

特定非営利活動法人 しっぽいっぽの会

ゆうちょ銀行 記号 : 12170 番号 : 73909671

しっぽいっぽの会

facebook 内の支援ページ (gooddo) で「いいね！」や「応援する！」をクリックするだけでも簡単に支援金を届けられます。まずは、facebook で「しっぽいっぽの会」を検索！

発行・編集 : NPO法人 しっぽいっぽの会

<http://www.sippoippo.info>